

平成29年度 予算概要 未来への挑戦

固企画財政課 ☎(235)8453

人口減少社会に突入し、県内でも人口減少対策を最優先課題としている市町村が多い中、海老名市は、地方創生の目指す「まち・ひと・しごと」の好循環が具現化しつつあります。

そのような中、市は「海老名市人口ビジョン」で、平成29年度の目標人口を約12万9000人と定めました。これは今後到来する人口減少を最小限に抑制した「攻めのビジョン」です。

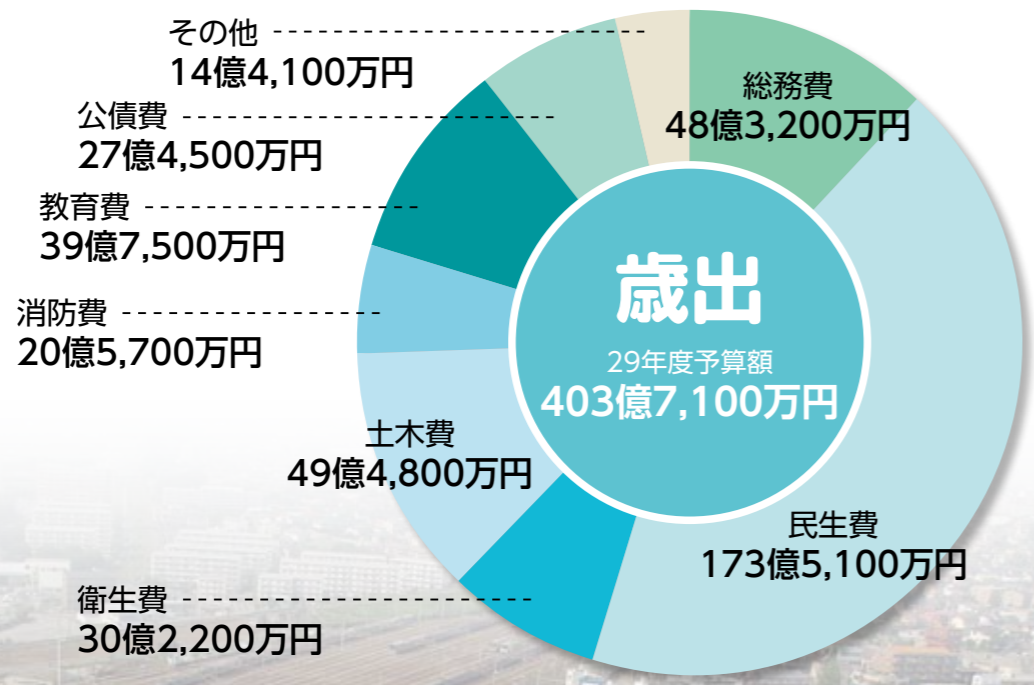
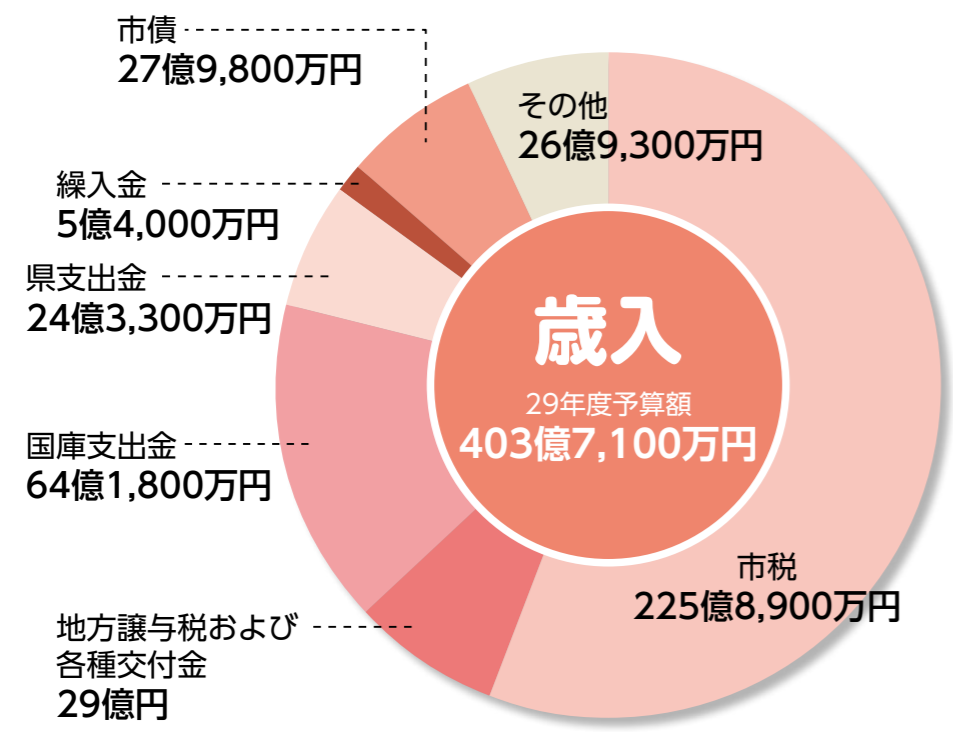
急速な少子高齢化社会から増加する社会保障経費、複雑化・多様化

する市民ニーズへの対応、公共施設の老朽化問題など、未来を見据えた対策を講じなければ、現状維持すら危うくなる恐れがあります。

まちが成長曲線を描いている今だからこそ、長期的な視野に基づく取り組みを進める必要があります。人口ビジョン実現に向けた「海老名市かがやき持続総合戦略」に基づく各事業と、新たなまちづくりを次のステップへと推し進めるため、平成29年度予算を「未来への挑戦」として編成しました。
(平成29年度施政方針・抜粋)

一般会計予算の内訳

一般会計予算額は403億7100万円で、前年度と比べて19億100万円、4.9%増額となりました。歳入では、海老名駅西口の開発などによる法人市民税や固定資産税の増、歳出では海老名駅北口駅前広場の整備や障がい者第三デイサービスセンター(あきば)の建設など普通建設事業費の増が特徴です。



平成29年度予算額

一般会計、特別会計および企業会計を加えた総予算額は684億6400万円となり、過去最大の予算規模となりました。

会計名	平成29年度当初予算額	対前年度伸率	
一般会計	403億7,100万円	4.9%	
特別会計	232億8,475万6,000円	2.3%	
	国民健康保険事業	146億9,114万2,000円	0.3%
	介護保険事業	70億1,944万5,000円	7.1%
	後期高齢者医療事業	15億7,416万9,000円	5.5%
特別会計	(廃止)	—	廃止
	下水道事業	—	廃止
企業会計	(新規)	48億827万3,000円	新規
	公共下水道事業	48億827万3,000円	新規
合計	684億6,402万9,000円	6.5%	

下水道事業が企業会計に

地方公営企業法の適用により、4月から下水道事業が公営企業会計に移行しました。これにより、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を作成することで経営成績や財政状態などの状態が明らかになります。また、整理した固定資産情報などを活用し、施設の老朽化対策などを進め、持続的かつ安定的な下水道事業の運営を図ります。